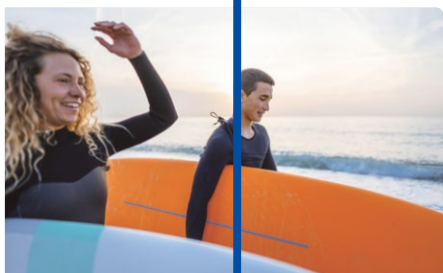




INTEGRATED REPORT 2025

統合レポート 2025





INTRODUCTION

ひとつのSUBARU

SUBARUグループは、「笑顔をつくる会社」というありたい姿の実現に向けて、グローバル・グループの全従業員が一丸となって取り組んでいます。事業活動全体を通じて「安心と楽しさ」の価値を進化させることで、お客様や株主の皆様をはじめ、すべてのステークホルダー、そして社会・地球環境にまで笑顔をお届けられる企業であり続けたいと考えています。



SUBARUでは、株主・投資家をはじめとする幅広いステークホルダーの皆様へ、当社グループへのご理解をより一層深めていただけるよう、財務・非財務情報を一体化した統合レポートの発行を毎年行っています。

統合レポート 2025は、ありたい姿である「笑顔をつくる会社」を実現し、愉しく持続可能な社会と当社グループの持続的な成長を両立していくため、グループ一丸となって注力していく取り組みやこれまで蓄積してきた強み、経営基盤などへのご理解を深めていただくことをコンセプトに編纂しています。

2023年8月に「新経営体制における方針」を公表して以降、当社を取り巻く環境は大きく変動しています。本レポートでは、あらためて柔軟性と拡張性を持った「モノづくり革新」と「価値づくり」の取り組みの進捗やその背景にある考え方、CXOによるメッセージにて今後の方向性やありたい姿を掲載しました。また、私たちが価値創造の取り組みを進める上で最も大事な要素となるお客様との関係性について、お客様の声とともに解説を行うことで当社の価値創造ストーリーをよりご理解いただけるよう努めています。さらに、企業競争力を高める6つの資本の取り組みや経営基盤となるガバナンスや人権尊重に向けた活動の開示を充実させるなど、統合レポート全体を通して開示の深化を図っています。

このたび、これまでの「CSR重点6領域」を「サステナビリティ重点6領域」と改めました。CSR視点だけではなく、SUBARUの価値や強みを一層活かした形で社会とSUBARUグループの持続可能性に寄与していくことで、さらなる社会価値・経済価値の創出を目指します。本レポートをステークホルダーの皆様とのコミュニケーションツールの一つとして活用し、さらなる情報開示の充実につなげるとともに、皆様からいただく忌憚なきご意見を当社グループの持続的な成長につなげていきます。

レポーティング体系

SUBARUグループは、ステークホルダーの皆様とのコミュニケーションを図るため、様々な情報を開示しています。本レポートに加えて、SUBARUグループの価値観や価値創造の概要を知っていただく「SUBARUのありたい姿」や、ESG 関連情報を国際的な開示基準に即して網羅的に開示している「サステナビリティ Web」などからも、情報を入手していただけます。

企業情報

株主・投資家の皆様へ

決算短信・決算説明会資料

有価証券報告書

株主総会 招集ご通知

コーポレートガバナンス報告書

サステナビリティ

報告対象範囲

株式会社SUBARU

＊本レポート中の「SUBARUグループ」または「当社グループ」はSUBARUグループを、「SUBARU」または「当社」は株式会社SUBARU単独を、「関係会社」は自動車部門の販売特約店を含む国内子会社と海外子会社を、「グループ会社」は自動車部門の販売特約店を除く国内子会社を指す。

報告対象期間

2024年4月1日～2025年3月31日

＊一部、対象期間外の情報も掲載しています。
＊本レポートにおける所属・役職などは、すべて取材当時のものです。

参考にしたガイドライン

経済産業省 「価値協創のための統合的開示・対話ガイダンス」
国際統合報告評議会（IIRC）「国際統合報告フレームワーク」

「統合レポート2025」用語

- S I A：Subaru of Indiana Automotive, Inc.
- SOA：Subaru of America, Inc.
- BEV：Battery Electric Vehicle(電気自動車)
- HEV：Hybrid Electric Vehicle(ハイブリッド自動車)
- I C E：Internal Combustion Engine(内燃機関)
- AWD：All Wheel Drive(全輪駆動)
- CXO：Chief X Officer

制作プロセス

2021年度より「統合レポート」の発行を開始し、以降、改善を図りながら毎年発行しています。

1. 「統合レポート」の発行後、機関投資家の皆様を中心に社内外のステークホルダーから率直なご意見を伺うとともに、外部団体のアワードにも応募し、評価いただく。
2. ご意見や評価を踏まえ、事務局が次年度の編纂方針を作成し、代表取締役社長が委員長を務め全役員が委員として参加する「サステナビリティ委員会」での承認を得る。
3. 承認を得た方針をもとに、各部門と事務局が協力して編纂する。
4. 「サステナビリティ委員会」で報告し、各部門の執行役員の確認を経て発行する。

将来予測に関する免責事項

本レポートに記載されている計画・戦略などのうち、歴史的事実でないものは、制作時点で入手可能な情報、予測に基づいた仮定および判断であり、様々なリスクや不確実性を含みます。将来における実際の業績は、SUBARUグループを取り巻く経済情勢や需要の変動などにより、これらと異なる結果となる場合があります。投資に関する最終決定は、上記の点を踏まえ、投資家の皆様ご自身の判断で行われるようお願いいたします。本レポートに掲載された情報に基づいて投資された結果、万一何らかの損害を被られましても、SUBARUグループの各情報の提供者は一切責任を負いかねますので、あわせてご了承ください。

目次

02 発行にあたって

04 At a Glance

価値創造ストーリー

06 CEOメッセージ

10 笑顔をつくる会社へ

12 積み上げてきた強みとビジネスモデル

16 価値創造プロセス

18 お客様との関係を育てる

24 新経営体制における方針

30 サステナビリティ重点6領域

価値創造のための資本戦略

34 製造資本

38 知的資本

46 人的資本

54 財務資本

58 社会関係資本

60 自然資本

66 航空宇宙事業

価値創造を支える経営基盤

70 IT／DX戦略

72 リスクマネジメント

76 コンプライアンス

78 人権尊重

80 コーポレートガバナンス

コーポレートデータ

96 10年間の主要連結財務データ

98 会社情報

歩みと現在

創業

中島知久平が飛行機研究所を創設

1917年

設立

富士重工業株式会社設立

1953年

資本金^{※1}

1,538億円

連結従業員数^{※1}

37,866人

自動車事業

自動車ならびに
その部品の製造、
販売および修理

航空宇宙事業

航空機、宇宙関連機器
ならびにその部品の製造、
販売および修理

生産拠点

自動車

2拠点

群馬県(日本)・
インディアナ州(米国)

航空宇宙

2拠点

栃木県・愛知県(日本)

89社

国内 432店舗
海外 約90カ国・地域

斯巴鲁汽车(中国)有限公司
スバル オブ チャイナ
Subaru of China Ltd.

スバル カナダ インク
Subaru Canada, Inc.

スバル オブ アメリカ インク
Subaru of America, Inc.

ノース アメリカン スバル インク
North American Subaru, Inc.

スバル ヨーロッパ
Subaru Europe N.V./S.A.

スバル オブ インディアナ
オートモーティブ インク
Subaru of Indiana
Automotive, Inc.

群馬製作所

本工場 矢島工場 大泉工場 北本工場

スバル研究実験センター
美深試験場

航空宇宙カンパニー

半田工場 半田西工場

航空宇宙カンパニー 宇都宮製作所

本工場 南工場 南第二工場

本社

スバル研究実験センター

東京事業所

※1 2025年3月31日現在
※2 2025年4月1日現在

業績と財務健全性

連結業績^{※3}

売上収益

4兆6,858億円

営業利益

4,053億円

連結営業利益率^{※3}

8.6%

ROE^{※3}

12.8%

自己資本比率

53.3%^{※3}

発行体格付

A-

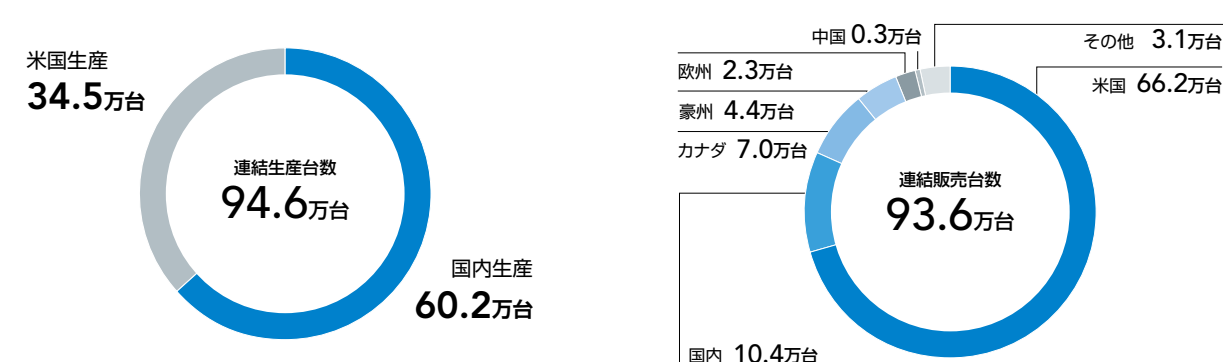
格付投資情報センター(R&I)
2024年12月18日現在

事業

売上構成比^{※3}



地域別比率^{※3}



業界シェア^{※4}

米国マーケットシェア

約4.1%

グローバルシェア

約1%

※3 2025年3月期
※4 2024年(暦年)